

KYOSHO TROPHY 2014 ファイナルチャンピオンシップご参加の皆様へ

<大会案内>

平素は京商製品をご愛用いただき、誠にありがとうございます。

大変遅くなりましたが第21回KYOSHO TROPHYファイナルチャンピオンシップの進行内容等、大会の最終のご案内を致します。

ご不明な点等がございましたら、お手数ですが下記までお問い合わせいただきます様、よろしく願いいたします。

KYOSHO TROPHY実行委員会

開催会場

神奈川県横浜市中区新港1-1-2 「横浜赤レンガ倉庫・イベントスペース特設コース」

*会場へのアクセスにつきましては

<http://www.yokohama-akarenga.jp/index.html> をご覧下さい。

タイムスケジュール

*レース進行状況により随時変更となる場合があります

2015年4月4日(土)

- 8:00 ~ 来場受付開始(8:30 締切)
- 9:00 ~ 練習走行開始(5分間を1回)
- 11:10 ~ 公式予選1回目(5分間周回レース)
- 14:05 ~ 公式予選2回目(5分間周回レース)
- 17:15 会場クローズ

2015年4月5日(日)

- 7:30 ~ 選手会場入り
- 8:15 ~ 集合写真
- 8:30 ~ 開会式
- 8:50 ~ 雑誌社対抗レース練習走行
- 9:10 ~ 決勝Cメインスタート
- 10:10 ~ 雑誌社対抗レース予選(2ラウンド)
- 10:40 ~ 決勝Bメインスタート
- 12:20 ~ 雑誌社対抗レース決勝
- 12:45 ~ 決勝Aメインレース開始
- 15:30 ~ 表彰式開始
- 16:00 解散

会場などについての注意事項

4月4日(土)について

8時00分から8時30分までが受付時間です。会場に着きましたら『車検コーナー』で受付を済ませてください。

* お車でご来場の方は会場荷降し場にて荷物を降し次第、有料駐車場へお車のご移動をお願い致します。(恐れ入りますが駐車料は各自ご負担下さい)

* 今回、大会専用駐車場は別紙の会場図をご確認下さい。**京商トロフィーファイナル選手専用駐車場**へお車を駐車される場合は必ずスタッフより駐車証をお受け取り下さい。

(1日¥1000)尚、この駐車場が満車となった場合は一般駐車場をご利用頂く事となりますので予めご了承下さい。

両日を通じてパドック、KYOSHO CUP参加者用として1チームにつきテ-ブル×1、椅子×3。個人戦参加者用として1名につきテーブル×1/2、椅子×1は当方で用意致します。パドックは事務局で指定させて頂きますのでご了承下さい。

尚、パドックはスペースに限りがございますので多人数でご参加のチームの方は、他チームに迷惑が掛からない様にご注意下さい。

AC100V電源はパドックにご用意いたしますがコンセント数に限りがございます。

譲り合ってご使用下さい。また暖房器具、コンプレッサー、電気ポットなど高電流を必要とする物の使用は禁止といたします。

エンジン調整は必ず「エンジン始動コーナー」でお願いいたします。

トイレは早朝～11:00までは赤レンガパーク両サイドの屋外トイレのみ使用可能です。

11:00以降は赤レンガ倉庫1・2号館内を使用可能です。

注意!

会場内での持ち物の破損・盗難、ケガ等の事故に関しまして当方は責任を負いかねますので、各自十分にご注意下さい。

パドックエリアは決められた範囲内でご使用下さい。

喫煙は【喫煙コーナー】でお願いします。(会場は喫煙コーナーを除き全面禁煙です)

車検は受付時には行いません。練習走行時に行います。

会場は17時15分にてクロ-ズと致します。整備の途中でも、この時間には閉場となります。

4月5日(日)について

会場へはAM7:30頃までに各自ご移動、ご入場下さい。

レースについての注意事項

公式練習走行について

選手来場受付後に走行組合せを行います。1ヒ-ト7～10台の走行を予定いたしております。走行は組合せに従って行って下さい。

燃料はGPフュール(R246ニトロ20%)を支給いたしますので会場内には燃料を持込まない様お願い致します。

走行前にエンジン調整用の燃料が必要な場合は本部まで車両をお持ち下さい。タンクに給油致します。

出走前に燃料ポンプとトランスポンダを本部まで取りに来て下さい。

公式練習走行は5分間×1回行う予定です。送信機の回収は行いません。電波管理は選手にお任せ致しますのでご自分のヒート以外では絶対に電波は発信しない様に注意して下さい。

公式練習時にはピットマンの人数制限は行いませんが、他チームの迷惑にならない様に！

公式練習走行終了時までには必ず車検をパスして下さい。(Tカモ含む)

公式練習時でも計測チェックを行いますので支給されたトランスポンダは必ず装着して下さい。

使用するトランスポンダについて

地区予選と同様に計測には充電式のトランスポンダをレースごとにお貸しいたします。

レース終了後にはポンダをその都度ご返却お願いいたします。

また、日頃ダイレクトポンダを使用なさっている方は必ず外しておいて下さい。

使用プロポについて

日本国内の規格に合致した2.4GHzプロポの使用を認めます。(海外規格品は使用不可)

公式予選について(5分間周回レース×2ラウンド ベストラウンドが予選成績となる)

全クラス: スタートは横一列の『ノーマル方式』で計測します。

GPクラス: 『スタート2分前・コースオープン』のコールがあるまでコースでの走行は行わないで下さい。

EPクラス: コースオープンのコール後、計測ラインを通過してそのままスタートラインに着いて下さい。(EPクラスは『スタート2分前』コールはありません。

GPクラス: 『スタート30秒前』のコールで全車スタートラインについて下さい。

(この時点で助手の方は1名、コース内に入る事ができます)

GPクラス: スタートまで助手が車両を保持していて構いませんがスタート時に人力で車両を押し出す行為は禁止とし、警告の対象となりますので注意して下さい。

全クラス: フライングや悪質な走路妨害はピットストップ10秒のペナルティが課せられます。

コースマシナルは設けませんので助手の方が行って下さい。コース内に立入る場合は他車に充分注意して下さい。コース内で助手の方が他車の走行を著しく妨害した場合は該当チーム(選手)へのペナルティとなる場合があります。

スタートに間に合わなかった車両はピットロードからスタートして下さい。

最初の1台がゴールとなった時点でピットにいた車両はコースへ復帰出来ません。

ピット作業は必ず、ピットエリアで行って下さい。(ピットロードでの作業厳禁)

レース終了後はトランスポンダ、燃料ポンプを返却して下さい。

ピットエリアに持込んだ車両は全て車検の対象です。必ず車検を受けて下さい。

下位メイン～決勝Aメインについての注意事項

【レギュレーションブック記載事項・公式予選での注意事項と同じ事柄は省略しています。】

スタ - トはル・マン式のグリッドスタ - トで行います。『**ノ - マル計測**』

団体戦でのドライバ - チェンジの際は操縦台階段下にてご自分のチ - ム名とカ - ナンバ - をオフィシャルに申告して下さい。

危険防止の為、ドライバ - チェンジは必ず操縦台下で行って下さい。

レ - ス終了後、勝ち上がったチ - ム（選手）はピットエリアに持込んだ車両全ての車検を受けると同時に次レースのゼッケンを確認し貼り換えて下さい。

レース時間、レース進行順、ドライバーチェンジは別紙の『決勝レ - ス進行表』をよくご覧下さい。

その他

【基本的な事項はレギュレ - ションブックと同一です。それ以外の確認事項です。】

プラクティスラン（公式練習）におけるボディ -

レギュレ - ションに合致していれば、いかなるボディ - の使用も可。

ピットエリアへの立入り

立入れる人数は2名までとする。尚、主催者がお渡ししたパスを着けた選手のみ立入る事ができます。

ピットエリアとしての範囲はオフィシャルが決定致しますので確認して下さい。

選手、サポ - タ - パスの配布

初日（4月4日）の受付時にパスを配布いたします。大会終了後にご返却下さい。

サポーターパスではピットエリアに立ち入る事はできませんので予めご了承ください。

他者に対する発言

他選手やオフィシャルに対して暴言を吐く事を一切禁止致します。オフィシャルの判断により、退場していただく事もあります。

追加レギュレーションに付きましては京商ホームページをご覧ください。

昼食について

会場には多くのレストランがございますので是非ご利用下さい。ただ、時間や店舗によっては混雑も予想されます。時間には余裕をもって行動をお願いいたします。

大会への同意

本大会に来場参加する選手は、規定に全て合意したものとし、主催者側への意義申し立ては一切行えません。また主催者側も取り上げる事はありません。（建設的なご意見・ご提案は今後のレ - スを充実させるための参考材料として、書面に限り大会終了後に随時お受けいたします。尚、これにより本大会の結果が後日変更される事はありません。また、主催者側が個別に回答する事はありません。）

他選手の規定違反について主催者側に確認を請う場合は、文書にて提出する事。

この文書を基に主催者側は確認を行い、該当選手が明らかに規定違反を犯していた場合に限

りペナルティ - の処置をとります。ペナルティ - の度合いについてはオフィシャル協議によって決定いたします。尚、処置の内容については該当選手/他選手から意義申し立てがあった場合でも一切取り上げません。また、他選手の規定違反を指摘した選手は主催者側の確認により指摘された選手に明らかな規定違反が見つからなかった場合は、主催者側の損害を全て補償するものとしします。(進行遅延補償、確認スタッフ人件費、他)

レース全般において発生した不測の事態での判断、決定権の全てはオフィシャルにあるものいたします。

雨天時のレース開催判断はオフィシャルが行います。基本的にKYOSHO CUPは小雨決行、EPクラスは雨天中止となります。

以上

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

ご健闘をお祈り致します。

京商株式会社 2014 KYOSHO TROPHY 実行委員会